

最終更新日	2011年(平成23年)8月1日
-------	------------------

校番 33	福山市立 柳津小 学校
-------	-------------

1 学校教育目標

進んで学び、豊かな心でたくましく生きる子どもの育成

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命 (ミッション)

豊かな学びから自己実現をめざす子どもを育成する学校

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像 (ビジョン)

- 興味関心を持ち、体験を通じ、意欲的に取り組むことができる子どもを育成する学校。
- 基礎学力を身に付け、自分の考えを表現することができる子どもを育成する学校
- 思いやりの言動ができ、友だちと力を合わせて活動しともに伸びる子どもを育てる学校
- 授業を通して子どもに力をつけるために、常に授業をふり返り授業改善をおこなう学校
- 情報を発信し開かれた学校づくりをすすめ、保護者や地域から信頼される学校

3 自校の現状分析

- 昨年度の基礎基本定着状況テストでは、国語科が平均より1P下回り、算数科が5P上回った。全学年で実施した学力調査では、1/3の学年が全国平均を下回った。国語科では、「聞く力」「読み取る力」の習得、算数科では、「思考力」に課題があるという結果であった。授業の中で、しっかりと理解させるために書く活動や話す活動を多く取り入れ、学び合う経験をしっかりと積む必要がある。
- 生活アンケートでは、「算数や国語の勉強が好き」と答えた児童が半数を切り、「学校へ行くのが楽しい」と答えた児童も半数に満たなかった。「自分には、よいところがある。」と答えた児童も6割どまりで、自己肯定感や、学習への意欲が低いという状況がわかる。学ぶ楽しさや意義を伝え、あたたかな声かけや肯定的な評価により、新たな経験や、学習に積極的な姿勢を持つ児童の育成が求められている。
- 縦割りの掃除や集団遊びなどの異年齢との活動を通して、互いの良さに気付き、日頃よく知っている仲間を見直す機会を与えたい。そのために、学級活動と児童会活動を関連付けたり、全校での活動に児童の主体性を伸ばす場を仕組む必要がある。
- 新体力テストでは、全種目の半数以上が全国平均を上回っているが、柔軟性や巧緻性など日々の運動に裏付けされる種目を苦手とする。業間マラソンや青空体育を継続して取り組んできたことや、外遊びの奨励により運動することへの抵抗感が少しずつではあるが少なくなってきている。今後も運動を志向する姿勢を多くの児童に持たせる仕組みが必要である。

4 研究主題

(1) 研究主題

学習意欲を高める指導
～ 学習課題づくりから主体的な学習活動へ ～

(2) 研究指定

指 定	事 業 名 等	期 間
市	教育研究支援事業(算数科)	2011年度(平成23年度) ～2013年度(平成25年度)

5 今年度の重点目標と設定理由

重点目標	設定理由
<ul style="list-style-type: none"> 「わかる・できる」授業づくり ○学習意欲を高める取組み ○自発的な家庭学習を可能にする指導 「チーム柳津」組織力向上 ○組織による生徒指導の充実 ○情報共有とベクトルを揃える 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力定着を、児童の主体的な学びの中で図るために、めあてづくりの場を充実させる必要がある。 ・家庭学習での予習を授業に結び付け、学習内容を家庭学習で復習させる指導を展開する必要がある。 ・児童の情報共有と、指導の一歩化を図る中で、積極的な生徒指導を展開させる必要がある。

6 評価基準

評価・指標評価	基 準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

・ 自己評価(中間)の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(1学 期) 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組み ◇成果と取組み に着目)	(1学 期) 指標 評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期)経営目標 の達成状況 ◎ 改善方策
確 か な 学 力	1	意欲的に学習に 取り組む児童を 70%以上にする	★	新規	学習が好きだと答える児童 を60%以上にする。		▽国語、算数でのめあてづくりを、全授業の半 数以上の時間で、児童自らが設定できるように する。		○
				継続	国語、算数の単元末テスト の平均点を80点以上にする。		◇「宿題やりきり週間」を実施し、家庭学習の 目標時間を越える児童を90%以上にする。 「宿題やりきり週間」(年間4回)		
				新規	学習の手引きを活用して、 自主的に学習に取り組む児 童を90%以上にする。		◇「ノート名人になるには・・・」など、学習の 手引きを活用することで、自主的に学習に取り 組む児童を90%以上にする。		
豊 か な 心	2	友だちと活動す ることが好きな 児童を80%以上 にする	★	継続	あいさつができるとする児 童を90%以上にする。		◇あいさつ運動に、児童会、保護者見守り、地 域ボランティアと一緒に取り組み、保護者地域 の肯定的な評価を80%以上にする。		
				新規	児童会行事や全校行事で、 児童に自己評価をさせ、友 達と仲良く活動できたと する児童を80%以上にする。		▽体験活動の中身を吟味し、児童会活動等での 準備を支え、充実した活動ができるよう全校で 指導する。		
健 や か な 体	1	新体カテストで の自分の目標を 設定し、体力を向 上させる。	★	新規	新体カテストでの自己目 標を上回る児童を、80%以 上にする。		▽新体カテストの再チャレンジ種目や目標設定 を児童に行わせる。		

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(1学 期) 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組み ◇成果と取組み に着目)	(1学 期) 指標 評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期)経営目標 の達成状況 ◎ 改善方策
力量 ある 教職 員	1	授業改善に取り 組む職員を100% にする。	★	新規	授業研究における事前研 修と事後研修で、ワーク ショップ型研修を80% 以上実施する。		▽家庭学習と授業に連続性を持たせるなど、児 童自らがめあて設定が行えるような授業提案を 全職員が行い、授業評価表と自己目標に基づく 自己評価を年2回以上実施する。		
市民 から 信頼 され る学 校	3	学校の取り組み に対する保護者 の肯定的評価を 90%以上にする		継続	学校の情報を月に1回以 上発信する。		▽学校だよりや学級通信で、学校評価自己評価 表の成果や、改善策に関連した内容を年間2回 以上発行した教職員を90%以上にする。		
				継続	家庭、地域の連携により 特色ある教育活動を展開 する		▽学校の教育活動を、地域に公開する(年3回 以上)とともに、地域人材を活用した授業を各 学年1回以上実施する。		